

岩神大権現スギ (いわがみだいごんげんすぎ)

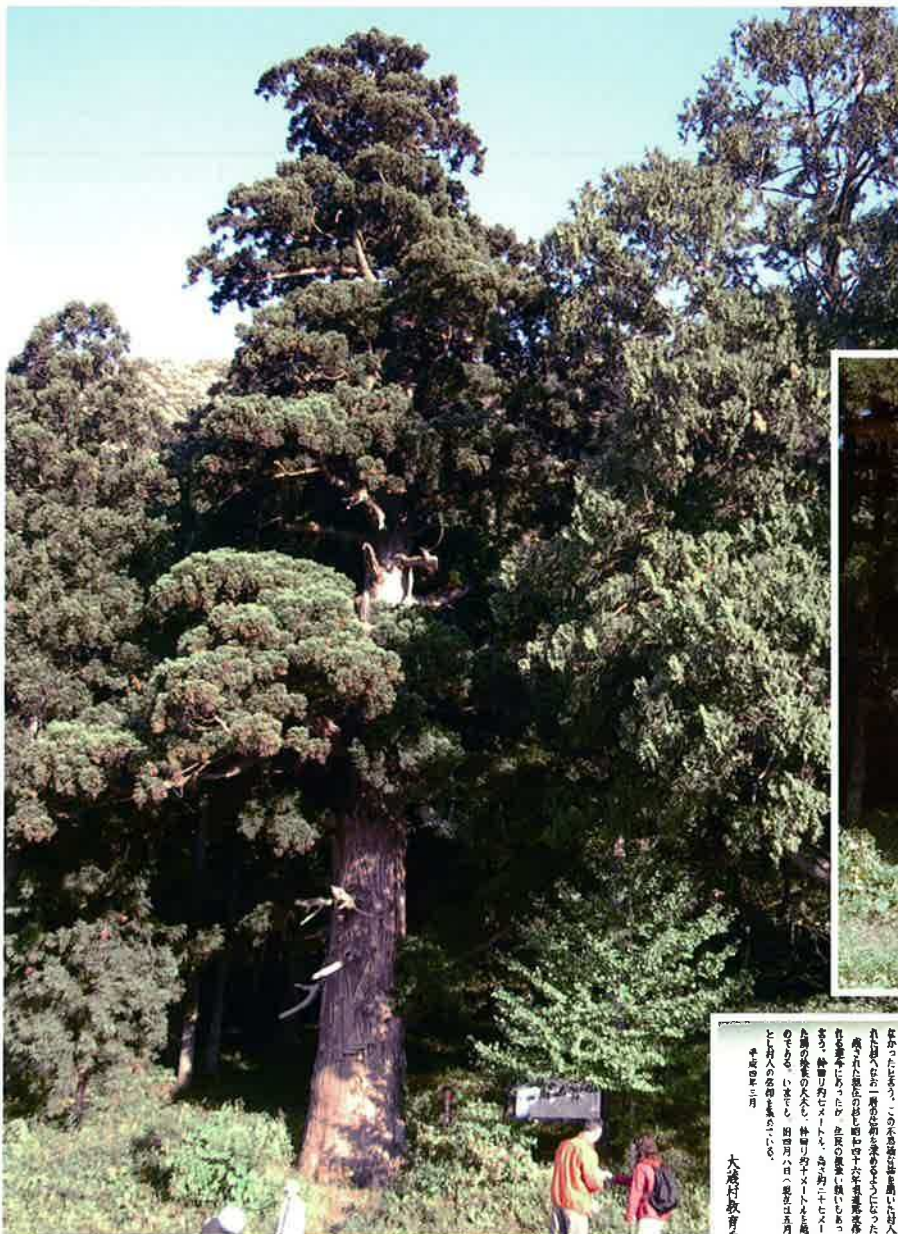
最上郡大蔵村大字赤松

何時の時代か一人の修験者が葉山に参詣の往路、この地にさしかかったところ、大きな杉の木に、権現様のお姿が現れたのを見て、これは葉山権現のお姿ではないかと、その神々しさに深く心をうたれ、この地で長く修業したと伝えられている。以後、村人達はこのスギを権現杉と呼び神木として祀るようになった。

古くからこの辺りを三本杉前として伝えられていて、一本は手前左側に大きな切り株が昭和中期頃まで輪郭が現存していたが残る一本の所在は確認できない。

幹周り約7m、高さ約27mあり、今でも旧4月8日（現在は5月8日）を祭日とし、村人の信仰を集めている。 [山形県森林協会]

(案内略図)



岩神大権現杉の由来

岩神大権現杉は、一人の修験者が葉山に参詣の往路、この地にさしかかったところ、大きな杉の木に、権現様のお姿が現れたのを見て、これは葉山権現のお姿ではないかと、その神々しさに深く心をうたれ、この地で長く修業したと伝えられている。以後、村人達はこのスギを権現杉と呼び神木として祀るようになった。

古くからこの辺りを三本杉前として伝えられていて、一本は手前左側に大きな切り株が昭和中期頃まで輪郭が現存していたが残る一本の所在は確認できない。

幹周り約7m、高さ約27mあり、今でも旧4月8日（現在は5月8日）を祭日とし、村人の信仰を集めている。

大蔵村教育委員会

【森林やまがた95号(2005年2月)記載】